

『キレイ』の先に行く ITAのデジタルハイビジョンCCTV



大阪市西淀川区 ラクエン 様

統合管理システム『MPC-G プラス』

集約 100台以上のレコーダを
まるで1台のように。

本社から全店舗・全レコーダの統合管理も可能
統合管理システム『Gプラス』は、システム上のカメラやレコーダ台数をまったく意識することなく、あたかも1台のレコーダを扱うように、映像切替、検索・再生、データバックアップができます。同様に、点在する遠隔地店舗のレコーダを、本社などで一元管理するシステム展開も可能です。

両立 既存カメラ*とのハイ
ブリッド運用が可能。

デジタルとアナログを併設利用できます
台間カメラのように被写体が近い場合や、休憩コーナーなどの狭小エリアに設置するケースでは、既存のアナログNTSCがまだまだ活躍します。『Gプラス』ならハイビジョンもアナログも、1台でスマートな運用が可能です。
※当社台間カメラ『TTA-390』や『MPC-8000』シリーズに対応。

簡単 遊技台単位の監視、
録画映像検索が簡単。

遊技機全台を対象にした個別録画・管理も簡単
遊技台の個別監視は、遊技台数に応じてカメラ台数も増えます。カメラ台数が増えると映像データも膨大なものとなりますが、『Gプラス』なら店舗マップから任意の遊技台映像を1クリックで表示。ホールコンやPOSと詳細連動する独自検索エンジンで、録画データも正確・簡単に再生します。



※画像内の人物は当社スタッフです。

「映像がキレイ」なだけではない キーワードは「集約」「両立」「簡単」



ハイビジョンCCTV
【MPC-Gプラス】

アイ・ティ・エイ・ビデオ・サービス株
www.ita-video.co.jp

ハイビジョンと既存カメラを両立



ハイビジョンカメラ
広範囲をカバーしなければならないコース・通路見にハイビジョンカメラを設置。ホールコン連動による自動追尾で、密度の高い状況情報を集めることができる。



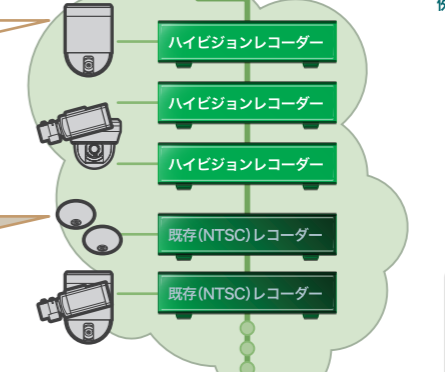
台間カメラ
遊技台間に設置し、遊技者の容貌・手もとをベストアングルで定点監視。もともと至近距離であるため、既存カメラの解像度（約38万画素）でも、必要な視認性を確保する。

ハイビジョンCCTVであると同時に、台間カメラによる遊技台個別監視システムとしても展開。

既設のカメラ*を活かしたハイビジョンCCTVも可能。デジタル/アナログのハイブリッド運用に対応します。

※ITA社製『MPC-8000』シリーズカメラや台間カメラ『TTA-390』などが対象。上画像内の人物はITA社のスタッフです。

カメラシステムを集約



台数に制限なくカメラ、レコーダ*を接続・管理することが可能。

レコーダ台数がどれだけ増えようとも、あたかも1台であるかのような操作性を提供。

※ITA社製レコーダ『GR104』、『D-REC』シリーズの一部に対応。

システム規模に関わらず操作が簡単

例えば録画映像の検索が簡単



名簿ID	連番ID	POS	発生場所	台名	対応カメラ	イベント
1	2012.08.28	19:16:10	CR新〇〇物語	101A	カメラ12	台ドアオープン
2	2012.08.28	19:32:56	CR新〇〇物語	101A	カメラ12	台ドアオープン
3	2012.08.28	19:46:01	CR新〇〇物語	101A	カメラ12	台ドアオープン

レコーダを集約しているため、一度の検索操作で指定条件の映像を絞り込むことができる。

手間も時間もかかりがちな監視業務を簡単・スマートにサポートします。

『ハイビジョン』に
プラスαの機能と操作性

監視カメラのハイビジョン化がいよいよ本格始動の様相だ。カタログや展示会などでも「ハイビジョンだからキレイ」「高精細」「高画質」などのフレーズが大文字で飛び交っている。そんななか「ハイビジョン」の一枚看板に留まらないプラスαを備えたシステムが現れた。アイ・ティ・エイ・ビデオ・サービス(株)のハイビジョンCCTV統合管理システム『MPC-Gプラス』(以下『Gプラス』)がそれだ。

統合管理システムである『Gプラス』は、レコーダを集約することで、システム上にあるすべてのライブ映像および録画映像を、あたかも一台のレコーダのごとく一元化。何百台というカメラ台数であっても、見たい映像へ簡単にアクセスするための機能・操作性を備える。台番やカメラ番号を手入力することなく、1クリックで映像切替を行う「マップウィンドウ」。「いつ」「どこで」「何が」発生したかを検索条件に該当映像を絞り込む「イベント検索」。録画映像内の人物追跡を直感的にサポートする「リレーカメラ」など、その名のとおりの

既存の『台間カメラ』も
オールインワン

様々な高付加価値がプラスされている。

それだけではない。『Gプラス』は、デジタルハイビジョンと既存アナログNTSCをボーダレスに両立し、ハイブリッドシステムとしての運用が可能。特筆すべきは、台間カメラシステムの一体運用を実現した点で、1つのアクションからコース設置と台間設置の2視点のカメラ映像をシンクロ表示する。

台間カメラは遊技者の容貌・手もとをベストアングルで捉えるため、ホールセキュリティ最強といわれる。不正対策から忘れ物の持ち主照合までこなし、導入店舗は拡大の一途にある。R島や円島など、コースからの画角取りが難しい島レイアウトの流行も手伝って、今後ますますニーズを伸ばしてくるだろう。

コースや通路見はハイビジョン、遊技台監視は台間カメラといった次代のトレンドに賢く応える『Gプラス』は、映像がキレイというだけに終始しない、真に使えるハイビジョンCCTVの姿を提示している。